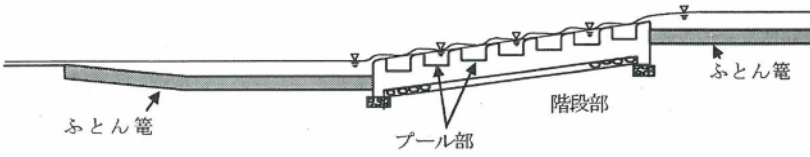
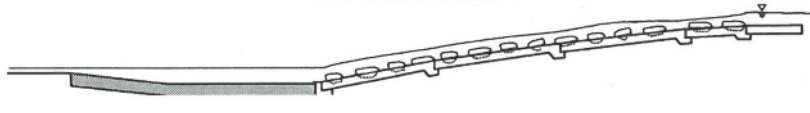


## 個票 4 魚類等の遡上を妨げる段差の大きな落差工を避ける

〔農 1(1)②1-2 農 3(2)①5-1〕

(2011年作成)

配慮の視点	生態系の多様性への配慮	配慮項目	生き物の生息・生育空間となる多様な自然とそのつながりの保全・創出
	遺伝子の多様性への配慮		野生生物の移動を阻害する要素の排除・抑制
配慮事項	生物の生息・生育空間のネットワーク化		
	野生動物の移動ルート確保		
配慮事例	エココリドーとしての道路法面の緑化や河川（水域）の連続性の確保		
	魚道の設置など、河川や溪流、周辺水路、止水域、河口までの連続性の確保		

内容	<p><b>●魚類等の遡上を妨げる段差の大きな落差工を避ける</b></p> <p><b>【解説】</b></p> <p>水路に生息する水生生物にとって、水路の縦断方向における水域の連続性は重要です。魚類等の移動可能な流速・水深を確保するため、縦断勾配を緩くしたり、落差をできるだけ小さくするなど、工法を工夫することが望まれます。</p> <p><b>【具体的な工法・配慮事項】</b></p> <p><b>●階段式落差工</b></p> <p>設計上のポイント</p> <p>①1 段の落差が大きい場合、小落差の複数段とします。</p> <p>②落差上下流に深みを設置し、水深を確保します。</p> <p>③落差下流に淵（減勢工を併用）を設置します。</p> <p>④落差部の角は、丸みをつけます。</p> <p>階段式落差工のプール部は、魚類の遡上には有効ですが、土砂が堆積するため維持管理が必要です。</p>	
	<p><b>●粗石付き急流工</b></p> <p>設計上のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 粗石（自然石）を設置することにより減勢します。</li> <li>・ 急流工下流に淵（減勢工を併用）を設置します。</li> </ul> <p>魚類の遡上時の休憩場所が確保しづらく遡上効果は階段式落差工に劣りますが、土砂堆積の心配が少なくてすみます。</p>	

出典：1

参考資料	1 「環境との調和に配慮した事業実施のための調査計画・設計の手引き」食料・農業・農村政策審議会、農村振興分科会、農業農村整備部会、技術小委員会 p74
------	---